

平成29年度採用

青梅市立総合病院 後期臨床研修医募集要領

1 応募資格

後期研修開始時において卒後2年間の初期臨床研修が修了している者

2 応募方法

次の書類を添えて、応募締切日までに郵送または持参にてお申込みください。

当院所定の書式のもの	採用試験申込書（当院ホームページからダウンロード）
ご用意いただくもの	医師免許証（写し） 保険医登録票（写し）

3 応募締切日および申込先等

(1) 応募締切日

①第1回応募締切日

平成28年9月30日（金）必着

②第2回応募締切日（第1回目で応募者多数の場合は第2回目の募集は行わない。）

平成28年10月30日（金）必着

※①②について郵送の場合は簡易書留郵便でお送り願います。

(2) 申込先等

〒198-0042

東京都青梅市東青梅4丁目16番地の5

青梅市立総合病院 管理課庶務係 担当：大野

TEL：0428-22-3191（内線5235）

e-mail：div9510@city.ome.tokyo.jp

4 選考日および選考方法等

選考日	平成28年10月～11月に実施予定 ※日時はメール等で連絡します。
選考方法	書類選考および面接試験
募集診療科	内科系・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・ 神経内科・リウマチ膠原病科・外科・麻酔科・救急科
募集人数	若干名
研修期間	平成29年4月1日から1～3年間

5 身分および待遇等

身 分	青梅市病院事業嘱託職員
給 与	月額給与 卒後3年次 530,000円 卒後4年次 550,000円 卒後5年次 570,000円 (給与改定があった場合、この限りでない)
諸 手 当	通勤手当、宿日直手当、診療業務(時間外勤務)手当等
勤 務 時 間	基本的な勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
休 暇	有給休暇：年12日、夏季休暇等：なし 年末年始休暇：12月29日～1月3日
各 種 保 険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険加入
健 康 診 断	年1回実施
職 員 住 宅	希望者は入居可 [付帯設備] エアコン、冷蔵庫、乾燥機付洗濯機、TV、ベッド、 ユニットバス、インターネット回線(ADSL回線)、 IHコンロ、オートロックシステム等
そ の 他	当院就業規則に準ずる

6 病院見学・実習

原則、全診療科について随時受け入れております。

見学・実習を希望される方は、日程および診療科をご検討の上、希望日の2週間以上前までにお申込みください。

※見学申込先

e-mail：div9510@city.ome.tokyo.jp

管理課 大野宛て

- ① 初期臨床研修先病院名・氏名
- ② 見学希望日(第1希望～第3希望)
- ③ 見学希望診療科

を入力のうち、メールにてお申込みください。

病院の概要

- 1 所在地 東京都青梅市東青梅4丁目 16 番地の 5
- 2 開院日 昭和 32 年 11 月 15 日
- 3 開設者 青梅市長
- 4 事業管理者 原 義 人
- 5 病院長 原 義 人

6 病院理念

私たちは、快適で優しい療養環境のもと、地域が必要とする高度な急性期医療を、安全かつ患者さんを中心に実践します。

7 運営の基本方針

清潔…私たちは、清潔な病院づくりに努力します。

親切…私たちは、親切な病院づくりに努力します。

信頼…私たちは、信頼される病院づくりに努力します。

自立…私たちは、自立できる病院づくりに努力します。

8 認定・表彰

- (1) 平成 26 年 2 月 7 日 日本医療機能評価機構の病院機能評価の更新・認定
- (2) 平成 15 年度・平成 26 年度の自治体立優良病院として総務大臣表彰を受賞
- (3) 平成 14 年度・平成 24 年度の自治体立優良病院として全国自治体病院開設者協議会・(社)全国自治体病院協議会両会長表彰を受賞
- (4) 平成 14 年 11 月 12 日 癒しと安らぎの環境フォーラムの主催する第 1 回「癒しと安らぎの環境賞」病院部門の最優秀賞を受賞

9 外来受付時間および面会時間

	外来受付時間	面会時間
平 日	午前 8:00～午前 11:30	午前 11:30～午後 1:00 午後 3:00～午後 8:00
土 曜 日	救急外来を除いて休診	午前 10:00～午後 8:00
日曜日・祝日		

10 職員数（平成28年4月1日現在）

（単位：人）

職務名		職員数	職務名		職員数
医師	医師 (専・研修医・非常勤含む。)	147	事務・技術	一般事務	25
	歯科医師	1		医療事務	10
医療技術	薬剤師	27		技能	救急救命士
	管理栄養士	5	電気技術		1
	診療放射線技師	21	労務	電気・ボイラ技師	1
	臨床検査技師	28		調理師	11
	理学療法士	5		一般用務	0
	作業療法士	3	給食作業	4	
	言語聴覚士	2	看護補助	0	
	視能訓練士	2			
	臨床工学技士	11			
	医療技術	0			
看護	助産師	442	小計(行政職計)		58
	看護師				
	准看護師				
小計(医療職計)		694	小計(行政職計)		58
総計		752			

11 病床数 総数 562 床

【内訳】一般 508 床(ICU6,CCU2,NICU3 床を含む。)、精神 50 床、感染症 4 床

病棟	病床数	病床種別	担当診療科
東3病棟	24	一般病床	小児科
東4病棟	50	〃	泌尿器科、眼科、外科、皮フ科、 歯科口腔外科、リウマチ膠原病科
東5病棟	50	〃	呼吸器内科
東6病棟	50	精神病床	精神科
西3病棟	55	一般病床(NICU3)	産婦人科、小児科(新生児・NICU)
西4病棟	51	一般病床	外科、呼吸器外科
西5病棟	51	〃	消化器内科、緩和ケア
南1病棟	48	〃	神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科
南2病棟	49	〃	整形外科、内分泌糖尿病内科、 耳鼻咽喉科
	4	感染症病床	
新4病棟	50	一般病床	循環器内科、心臓血管外科
新5病棟	50	〃	腎臓内科、血液内科
救急センター	22	一般(救急病室)	救急科
	8	一般(ICU6・CCU2)	
13看護単位	562		

12 標榜科目 全 29 科目 () は医師数 (専修医は含み研修医は除く。)

内 科 (1)	呼吸器内科 (8)	循環器内科 (11)	消化器内科 (8)	血液内科 (4)	内分泌糖尿病内科 (4)
腎臓内科 (5)	神経内科 (3)	リウマチ科 (3)	外 科 (10)	呼吸器外科 (1)	心臓血管外科 (2)
整形外科 (4)	脳神経外科 (4)	化学療法外科 (1)	精神科 (5)	小児科 (7)	皮膚科 (2)
泌尿器科 (3)	産婦人科 (9)	眼 科 (3)	耳鼻いんこう科 (3)	リハビリテーション科 (兼 1)	放射線科 (4)
病理診断科 (2)	臨床検査科 (1)	救 急 科 (5)	麻 酔 科 (7)	歯科口腔外科 (1)	

13 その他

臨床工学科、栄養科、薬剤部、地域医療連携室、中央手術室、中央材料室、中央注射室、内視鏡室、心臓カテーテル室、血液浄化センター、救命救急センター、PET・RIセンター、外来治療センター、脳神経センター

14 入院・外来患者数

		平成 27 年度 (A)	平成 26 年度 (B)	増 減	
				(A) - (B)	率
入院	一日平均患者数	423.2 人	432.5 人	▲9.3 人	▲2.15%
	年間患者数	154,873 人	157,878 人	▲3,005 人	▲1.90%
外来	一日平均患者数	1,322.4 人	1,303.4 人	18 人	1.38%
	年間患者数	321,337 人	318,026 人	3,311 人	1.04%

15 医療圏

東京都の保健医療圏 (13 地区) のうち、西多摩保健医療圏 (4 市 3 町 1 村) における中核病院として人口約 40 万人を担っており、また、東京都の救急医療体制において、西多摩保健医療圏で唯一の三次救急対応の救命救急センターを併設し、高度専門医療と救命措置にあっております。

さらに、災害時における東京都災害時後方医療施設として指定されているほかエイズ患者が安心して医療を受けられるための拠点病院としても指定を受けております。

16 診療指定

保険医療機関、労災指定、母体保護法指定医、生活保護、身体障害者指定医、指定自立支援医療機関 (精神通院医療・育成医療・更生医療)、原子爆弾被爆者一般疾病医療機関、結核指定医療機関、養育医療機関、救急告示、救命救急センター、その他 (人工透析)、育成医療指定、児童福祉法指定、エイズ診療協力病院 (拠点病院) 指定、第 2 種感染症指定医療機関、地域がん診療連携拠点病院指定、DPC 対象病院、東京都災害拠点病院、東京 DMA T 指定病院、東京都脳卒中急性期医療機関、東京都 CCU 連絡協議会加盟施設、ステントグラフト実施基準管理委員会実施施設、症候群別サーベイランス協力医療機関指定、指定小児慢性特定疾病医療機関、難病医療費助成指定医療機関

17 教育指定

医師の臨床研修病院に指定されているほか、各学会の認定研修施設等としても指定されています。

また、東京都立青梅看護専門学校および武蔵野大学・東京家政大学の看護実習病院として看護実習を受け入れているほか、その他の医療技術職養成機関の実習（薬剤師、臨床検査技師等）の受け入れも行っております。

18 敷地面積 22,734.42 平方メートル

19 建物概要

名称	規模・構造	面積(m ²)	建築年月
西棟	鉄筋コンクリート造地下2階地上6階建	9,479	昭和54年5月
東棟	鉄筋コンクリート造地下2階地上6階建	10,009	昭和56年8月
南別館	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建	1,135	昭和58年3月
南棟	鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建	6,189	平成2年3月
南連絡棟	鉄骨造地上3階建	542	平成2年3月
新棟	鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建屋上リフト	18,063	平成12年3月
PET・RIセンター	鉄骨造地上1階	319	平成18年3月
構内医師住宅 (CASA DOCTORAL)	鉄筋コンクリート造地上4階	1,575	平成14年3月
その他		496	

青梅市立総合病院

後期臨床研修プログラム（内科系）

1 研修対象者

内科系の研修を希望する卒後3年目以降の医師で、

- (1) 内科系専門研修を希望する方
- (2) 日本内科学会の認定内科医・総合内科専門医あるいは内科系各分野専門医資格取得をめざす方

2 研修期間

1年～3年間（希望により調整）

3 研修の目的

- (1) 内科専門分野の診療および他の内科分野の知識と診療技術を習得する。
- (2) 内科系疾患全般にわたる総合的な知識と診療技術を習得する。
- (3) 急性期診療、慢性期診療さらに癌診療において、全人的かつ適切な診療ができる内科医を目指す。
- (4) 認定内科医、さらには総合内科専門医および各分野の内科系専門医の資格取得を目指す。

4 研修システムの特徴

- (1) 当院は内科系病床230～270床を有する地域の基幹病院であり、多くの症例を経験できる。
- (2) 専門分野を主に研修するコース（専門重視型コース）と、内科全般を研修するコース（内科全般型コース）を希望に応じて選択できる。
- (3) 専門重視型コースでは、特定の内科専門分野で主に研修するが、希望により専門分野以外の内科分野を研修できる。
- (4) 内科全般型コースでは、1タームを原則3ヶ月間として、内科全般を広く診療できるよう、多数の専門分野で研修できる。
- (5) 研修期間は1～3年の範囲で調整可能で、目的に応じた研修カリキュラムを組むことができる。
- (6) 内科系各分野は、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ膠原病科の8分野あり、各分野に専門医・指導医が在籍しているので、豊富な指導医のもとであらゆる内科分野の研修ができる。
- (7) 当院は内科学会認定医制度の教育病院であり、また多数の内科系学会から認定医・専門医研修指定施設の認定を受けているので、内科学会の

- みならず各分野の専門医研修も兼ねることができる。
- (8) 希望により、専属の救急科医師5名が在籍する救命救急センターでの研修ができる。
 - (9) 内科の主要な検査・手技や、専門性の高い検査も指導医のもとに研修し、技術を習得できる。
 - (10) 糖尿病、循環器疾患、脳卒中等の慢性疾患の教育・治療・地域活動等も積極的に行っているため、これらの活動に参加できる。

5 指導体制の概要

(1) 病棟研修

各診療科病棟で研修医は10名程度の入院患者を受け持ち、指導医および専門医の指導のもとで診療を行う。治療方針は病棟カンファレンス、回診等で決定する。なお、各分野では上記の検査に参加し、技術を習得する機会がある。また、知識や思考力を養うための抄読会も積極的に行われている。

(2) 内科系救急研修

週に1回、午後の内科系救急当番医として、研修分野の上級医と相談しながら内科外来にて患者を診療する。また、月に2回程度、内科当直医として当直業務を行う。

なお、救急科をローテーション研修する場合は、救急専門医の指導のもと、救命救急センターにて診療にあたる。

(3) CPC・カンファレンス・症例検討会等

週1回の内科系カンファレンス、隔月開催されるCPCに参加し、また症例のプレゼンテーションを行う。その他、病院主催の各種講演会、勉強会、院内各科合同症例検討会、勉強会など、多数のカンファレンスが開催されている。

6 各専門内科の概要紹介

呼吸器内科 スタッフ8名

年間約1,150名の入院患者の診療を行っています。疾患は胸部腫瘍・アレルギー疾患・間質性肺疾患・呼吸器感染症と幅広く、希少疾患も数多くあります。当科はやや小規模ですが、密で丁寧な指導が受けられます。手技も気管支内視鏡・EBUS-TBNA・EBUS-GS・局麻下胸腔鏡等重要な手技は一通り身に着けられます。

当科は週2回の症例カンファレンス、週1回の抄読会、週1回の病理診断科・胸部外科・放射線科との合同カンファレンスを行っています。各科の垣根は低いので、他科の先生方にも気軽にコンサルトできる雰囲気があります。なお救急科を含めた関連科ローテーションは特段義務化されていませんが、希望があれば沿えるよう配慮します。

また、学術的な面にも積極的に取り組んでおり、学会報告や論文作成の能力を養うことを期待し、指導いたします。3年間のカリキュラムを通して、認定内科医を取得し、呼吸器内科専門医の準備を行っていきます。

ハードな研修になるかと思いますが、自由な雰囲気の中での皆さん一人一人の能動的な取り組みで実力を伸ばすことができます。しっかりと基礎を固め、かつ豊富な臨床経験を積んだ臨床医をめざしたい意欲のある方、ぜひ応募してください。

循環器内科 スタッフ10名

救命救急センターとの連携のもとに東京CCUネットワークに参加し、循環器内科当直による24時間心臓救急診療体制をしいています。心臓外科のバックアップもあり大動脈解離等の緊急手術も可能です。循環器専門医研修施設、不整脈専門医研修施設および心血管インターベンション治療学会研修施設であり、冠動脈ロータブレーター、植込み型除細動器、両心室ペースメーカー等の手技習得も可能で、冠インターベンション・不整脈の専門医の指導のもとに、幅広く多数の症例・手技を経験しながら専門医を取得することができます。心臓外科とは同一の病棟であり、毎日行われるシネカンファを通じて術前術後の連携も密接です。やる気のある元気な研修医を募集しています。

消化器内科 スタッフ8名

消化器内科は上下消化管疾患、肝・胆・膵など幅広く診療できることを目指して4つの柱を設けて指導しています。

1. ウィルス性肝炎の治療と肝癌の内科治療（ラジオ波凝固治療、TAE）
2. 潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患のレミケードや特殊治療
3. 消化管悪性疾患の診断・治療

毎週外科・放射線科・病理部と合同のカンファレンス

4. 内視鏡治療

上部・下部の通常診断内視鏡、消化管出血の治療、早期癌の内視鏡的粘膜切開剥離（ESD）、胆道・膵管内視鏡、ステント治療、胃ろう造設など

血液内科 スタッフ4名

当院血液内科は、西多摩医療圏の地域医療の中心的役割を担っています。新患として、急性白血病20～30名、悪性リンパ腫約60名などを年間に受け入れ、病棟入院患者は常時25～30名前後となっています。周辺地域のほとんどの血液疾患の診療を行っており、非常に多彩な症例の診療を経験できます。学会指導医がいる研修指定病院となっており、経験医とともに熱心な指導を行ってしています。クリーンルーム5床、アイソレーター3台を有し、抗癌剤による化学療法や、特に力を入れている多彩な分子標

的治療を学ぶことができます。学会等にも積極的に発表しています。後期研修に非常に適した環境が整っており、多くの若い医師が専門医を取得しました。

神経内科 スタッフ3名

脳梗塞等の脳血管障害、アルツハイマー病やパーキンソン病等の神経変性疾患、末梢神経障害、髄膜炎等神経感染症、筋無力症、片頭痛、てんかん等を多数経験できます。

リウマチ膠原病科 スタッフ3名

病棟には常時10～15名程度の入院患者がおり、リウマチ性疾患および合併症の治療を行っています。臨床研修では病歴・所見の取り方、鑑別診断の進め方など、内科診療に必要な考え方および技能を修得して頂き、また学会発表や論文作成も積極的に行っていただきたいです。日本リウマチ学会の教育施設認定も受けていますので、専門医を志す医師にも研修していただけます。

7 研修修了後の進路について

当院で引き続き勤務を希望する場合は、可能な限り相談に応じます。また、内科系各科は東京医科歯科大学と関連があり、大学院への進学や大学病院での勤務を希望する場合、紹介・推薦が可能です。

青梅市立総合病院

後期臨床研修プログラム（外科）

【当院の外科について】

- 病床数は約50床で、現在外科医は10名が在籍しています。
- 平成27年度の総手術件数は964件で、各領域の癌、動脈瘤等血管疾患を網羅しています。
- モットーは「確実に先進技術を取り入れた外科」で、緊急手術も多く活気に満ちた毎日です。
- 外科医師一同、やる気のある後期臨床研修医を歓迎します。

【研修の概要】

- 2年間の初期研修を終え、外科医を志す臨床研修医が外科学の基礎を実際に習得することを目標としています。
- 診断・治療・手術手技の臨床トレーニングだけではなく、医の倫理を常に念頭においた研修を行います。

【研修方法】

- 後期臨床研修期間は、原則的には3年です。
- 外科研修中は各グループの一員として主治医となります。
- 手術手技の一覧は外科専門医修練カリキュラムに準拠しています。
- 研修期間中の3年間で外科専門医試験の最低症例数は達成できます。
- 修練は手術・診断・術前術後管理が主体となりますが、外科医として必要な内視鏡・超音波検査・X線造影検査等の実技は適宜盛り込んでいます。

青梅市立総合病院

後期臨床研修プログラム（麻酔科）

【当院の麻酔科について】

- 東京都の西多摩地区の中核病院として、東京都に接する埼玉県、山梨県までが対応エリアとなっています。近くに救命救急センターがないため緊急手術も多く、種々の症例が経験できます。
- 常勤医6人、パート1人/日で対応しております。経験できる診療科も小児外科以外は、心外、脳外をはじめすべての診療科が揃っております。
- 精神科が併設されているため精神疾患合併患者の手術も多く、電気けいれん療法なども行われております。
- 麻酔科医師一同、やる気のある後期臨床研修医を歓迎いたします。

【研修の概要】

- 標榜医を取得したい方、これから麻酔科医師を志す臨床研修医が麻酔科の基礎を学び、技術を習得することを目標にしています。
- 術前診察、実際の手技や技術、麻酔科の理論を学んでいただきます。当院では特に術前診察に力を入れております。

【研修方法】

- 後期臨床研修期間は、2～3年間で予定しています。
- 研修期間中は、当院の麻酔科医師の指導のもと、定時手術や緊急手術に対応していただきます。
- 2年間の研修で標榜医、認定医の申請資格が得られます。

青梅市立総合病院

後期臨床研修プログラム（救急科）

【当院の救急科（救命救急センター）について】

西多摩二次医療圏（青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、奥多摩町、瑞穂町、日の出町、檜原村）で唯一の救命救急センターです。日本救急医学会指導医施設に指定されています。

西多摩地区は東京都の1/4を占め、そのほとんどが山岳地帯で、人口は約39万人です。

二次医療圏内に救急を担う急性期病院が少ない一方で、療養型病院・精神病院・高齢者施設が多いのが特徴です。また直近の救命救急センターまで救急車で30分以上かかるため、救急搬送において総合病院併設型である当センターへの依存が高くなっています。

東京都内だけでなく埼玉県（入間郡名栗村、入間市、飯能市）や山梨県（北都留郡小菅村、丹波山村）からも救急車を受け入れています。

27年度は年間約15,000人の救急患者を扱い、約4,300台の救急車を受け入れました。

【研修の概要】

□ 初期目標

日本救急医学会専門医の習得、あるいはそれに相当する救急患者診療能力の習得

□ 勤務体制 二交代制

平日 8:30~17:00、17:00~8:30（翌日）

土日祝 8:30~19:00、19:00~8:30（翌日）

□ 勤務内容

救急外来受診患者の初療（小児科産婦人科の一、二次救急は除く。）と救急科入院患者の診療

- ・基本的にすべて一人で行い、かつ研修医を指導しながら診療を進めます。
- ・必要に応じて、院内の手助けを要請することができます。
- ・担当時間以外は基本的には休みです。

□ オプション

二交代制なので空いている時間に他科（例えば小児科、循環器内科など）の研修を希望したい場合には、御相談に応じます。

□ 研修期間

初期目標を達成するまで（2~3年）が基本ですが、御相談に応じます。

□ 研修後の進路

可能な限り御希望に添うようにします。さらなる救急医学を学びたい場合も御相談に応じます。